

第19回 沖縄振興審議会の開催について



伊藤会長と枝野大臣

平成23年5月13日、「第19回 沖縄振興審議会」が東京で開催されました。

会議の冒頭、審議会の会長互選が行われ、東京大学大学院の伊藤元重教授が再選出されました。

次に、審議会の下に設置された専門委員会において昨年9月の中間報告取りまとめ以降に行われている調査審議の状況について、座長の嘉数啓名桜大学理事長から報告がありました。



審議の様子

続いて、仲井眞沖縄県知事から、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の素案や、新たな沖縄振興のための制度提言についての説明がなされた後、自由討議が行われました。

会議の締めくくりに当たり、枝野沖縄担当大臣から、「東日本大震災により、沖縄振興にも影響が出るのではと心配される向きもあるが、アジアに開かれた地理的条件や、若い人口構成などの特性を生かしつつ、新たな振興策を強力に進めてまいりたい」旨の総括的な挨拶がなされました。

『かりゆしウェア』の普及・促進



内閣府沖縄担当部局では、例年より1か月前倒しで始まったクールビズ期間に合わせて、霞が関の全省庁に「かりゆしウェア」の共同購入や展示販売会を案内し、職員による積極的な着用を呼びかけるなど、「かりゆしウェア」の普及・促進に努めています。

このような中、5月13日、仲井眞沖縄県知事とミス沖縄の町田亜希さんが枝野沖縄担当大臣を訪問し、「かりゆしウェア」の贈呈を行いました。枝野大臣は、「今夏のクールビズに『かりゆしウェア』は最適であり、是非全国に広めたい」とお礼の言葉を述べました。